

おしえて！

感染症 さがみはら

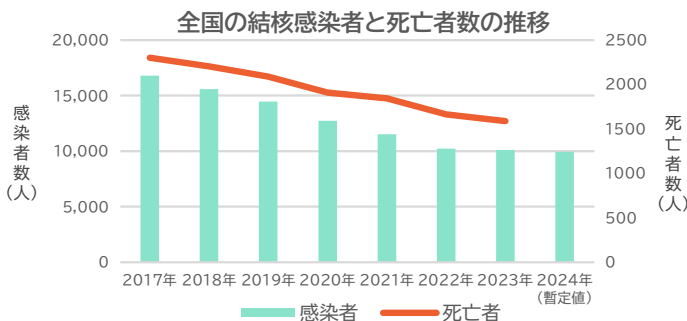
2025年9月



今月の注目疾患：結核

結核は、現在でも年間約10,000人の新しい患者が発生し、1,500人以上が命を落としている感染症です。

毎年9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。この機会に結核の正しい知識を身につけましょう。



新規の患者は高齢者に多く
およそ7割が60歳以上



こんな人も結核に注意

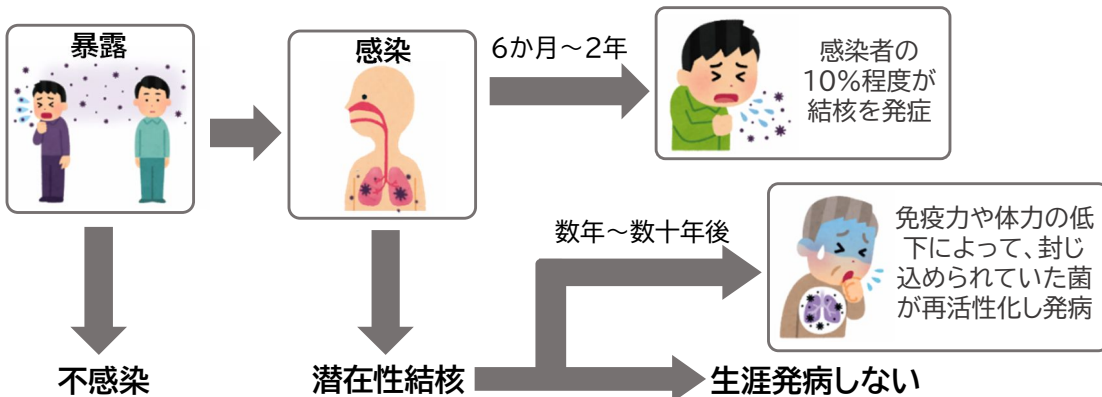
- 喫煙習慣がある人
- 糖尿病の人
- ステロイド剤を使用している人
- 人工透析を受けている人
- 胃潰瘍・胃の手術をした人
- BCGワクチン接種前の乳幼児

どのようにして感染する？

結核患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸いこむことにより感染します(空気感染)。

感染＝発病ではありません！

結核菌に感染した人が全員結核を発病するわけではありません。ほとんどの人は免疫によって菌が封じ込められ、感染が成立していても発病しない潜在性結核になります。



予防・早期発見のために



BCGワクチン接種

乳幼児は抵抗力が弱く、感染すると菌が全身に移行し重症化しやすいです。生後5か月～8か月の期間に1回接種することで小児の結核を予防できます。



免疫力の向上

免疫力が高いと感染・発症を防ぐことができます。バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけましょう。



禁煙

喫煙は結核の感染や発病、重症化のリスクを高めます。



こまめな換気

結核菌は拡散したり紫外線に当たったりすると感染力を失います。



早期受診

2週間以上続く咳、微熱、身体のだるさがある場合は医療機関を受診しましょう。



定期健診

胸部X線検査を年に1回程度受診しましょう。65歳以上の方は市の結核健康診断を無料で受診できます(要予約)。



保健所医師からのコメント

結核の標準的な治療期間は6～9か月です。治療途中で薬を中断したり、指示通りに薬をのまなかった場合、薬の効かない結核菌(耐性菌)となる可能性があります。医師の指示を守り、定められた期間きちんと薬をのむことが重要となります。



厚生労働省HP:結核

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou03/index.html



★相模原市感染症情報センターでは毎週感染症に関する情報を掲載しています

相模原市 感染症情報センター



発行 相模原市衛生研究所